

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和3年7月29日(2021.7.29)

【公表番号】特表2020-527546(P2020-527546A)

【公表日】令和2年9月10日(2020.9.10)

【年通号数】公開・登録公報2020-037

【出願番号】特願2019-572724(P2019-572724)

【国際特許分類】

A 6 1 K	38/17	(2006.01)
A 6 1 K	38/08	(2019.01)
A 6 1 P	37/06	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 P	31/00	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
C 1 2 N	15/12	(2006.01)
C 1 2 N	15/11	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	38/17	
A 6 1 K	38/08	
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 P	31/00	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	35/00	
C 1 2 N	15/12	Z N A
C 1 2 N	15/11	Z

【手続補正書】

【提出日】令和3年6月16日(2021.6.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

対象における自己免疫疾患、ウイルスもしくは微生物による病態形成、炎症またはがんの阻害における使用のための薬剤であって、T L R 7 の C 9 8 と C 4 7 5との間またはその対応する位置の間のジスルフィド結合形成に拮抗する薬剤。

【請求項2】

薬剤が、T L R 7 のアミノ酸 4 ~ 1 9 4 の間の連続アミノ酸最大 1 9 0 個に対して少なくとも 7 0 % のアミノ酸配列類似性を有するアミノ酸配列を有する、アミノ酸約 4 ~ 約 1 9 0 個の長さのペプチドを含み、但し、ペプチドが T L R 7 の 9 8 番目に相当する位置にシステイン残基を含むことを条件とする、請求項1に記載の薬剤。

【請求項3】

薬剤が、ヒト T L R 7 の 9 5 ~ 1 0 4 番目のアミノ酸に対応する、D X ₁ R C N C X ₂ P X ₃ X ₄ (配列番号 27) (ここで、X ₁ は L、F または M であり、X ₂ は V または I であり、X ₃ は V または I または A または P であり、X ₄ は P または L または K または R

である)に対して少なくとも70%の類似性を有するアミノ酸配列を有するペプチドを含み、但し、ペプチドがTLR7の98番目に相当する位置にシステイン残基を含むことを条件とする、請求項2に記載の薬剤。

【請求項4】

ペプチドが、アミノ酸配列DFRCNCVPIP(配列番号26)を含む、請求項3に記載の薬剤。

【請求項5】

ペプチドが、ペプチドの細胞への取込みを可能とする、ペプチドのN末端またはC末端に結合する部分をさらに含む、請求項1~4のいずれか一項に記載の薬剤。

【請求項6】

部分が、親水性ペプチド、両親媒性ペプチドまたは周期性アミノ酸配列もしくはコレステノールとの結合体を有するペプチドである、請求項5に記載の薬剤。

【請求項7】

親水性ペプチドが、TAT(配列番号2)、SynB1(配列番号3)、SynB3(配列番号4)、PTD-4(配列番号5)、PTD-5(配列番号6)、FHVcoat(配列番号7)、BMV Gag-(7-25)(配列番号8)、HTLV-II Re x-(4-16)(配列番号9)、D-Tat(配列番号10)およびR9-Tat(配列番号11)からなる群から選択される、請求項6に記載の薬剤。

【請求項8】

両親媒性ペプチドが、トランスポータンキメラ(配列番号12)、MAP(配列番号13)、SBP(配列番号14)、FBP(配列番号15)、MPG[MPGac](配列番号16)、MPG(NLS)(配列番号17)、Pep-1(配列番号18)およびPep-2(配列番号19)からなる群から選択される、請求項6に記載の薬剤。

【請求項9】

周期性アミノ酸配列を有するペプチドが、ポリアルギニンまたはポリリジン配列を含む、請求項6に記載の薬剤。

【請求項10】

TLR7のC98とC475との間またはその対応する位置の間のジスルフィド結合形成に拮抗する薬剤、ならびに1つまたは複数の医薬担体、賦形剤および/または希釈剤を含む医薬組成物。

【請求項11】

薬剤が、TLR7のアミノ酸4~194の間の連続アミノ酸最大190個に対して少なくとも70%のアミノ酸配列類似性を有するアミノ酸配列を有する、アミノ酸約4~約190個の長さのペプチドを含み、但し、ペプチドがTLR7の98番目に相当する位置にシステイン残基を含むことを条件とする、請求項10に記載の医薬組成物。

【請求項12】

薬剤が、ヒトTLR7の95~104番目のアミノ酸に対応する、DX₁RCNCX₂PX₃X₄(配列番号27)(ここで、X₁は、L、FまたはMであり、X₂は、VまたはIであり、X₃は、VまたはIまたはAまたはPであり、X₄は、PまたはLまたはKまたはRである)に対して少なくとも70%の類似性を有するアミノ酸配列を有するペプチドを含み、但し、ペプチドがTLR7の98番目に相当する位置にシステイン残基を含むことを条件とする、請求項11に記載の医薬組成物。

【請求項13】

ペプチドが、アミノ酸配列DFRCNCVPIP(配列番号26)を含む、請求項12に記載の医薬組成物。

【請求項14】

ペプチドが、ペプチドの細胞への取込みを可能とする、ペプチドのN末端またはC末端に結合する部分をさらに含む、請求項10~13のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項15】

部分が、親水性ペプチド、両親媒性ペプチドまたは周期性アミノ酸配列もしくはコレ

テノールとの結合体を有するペプチドである、請求項1-4に記載の医薬組成物。